

# 兵庫県におけるミズコバギボウシの初記録

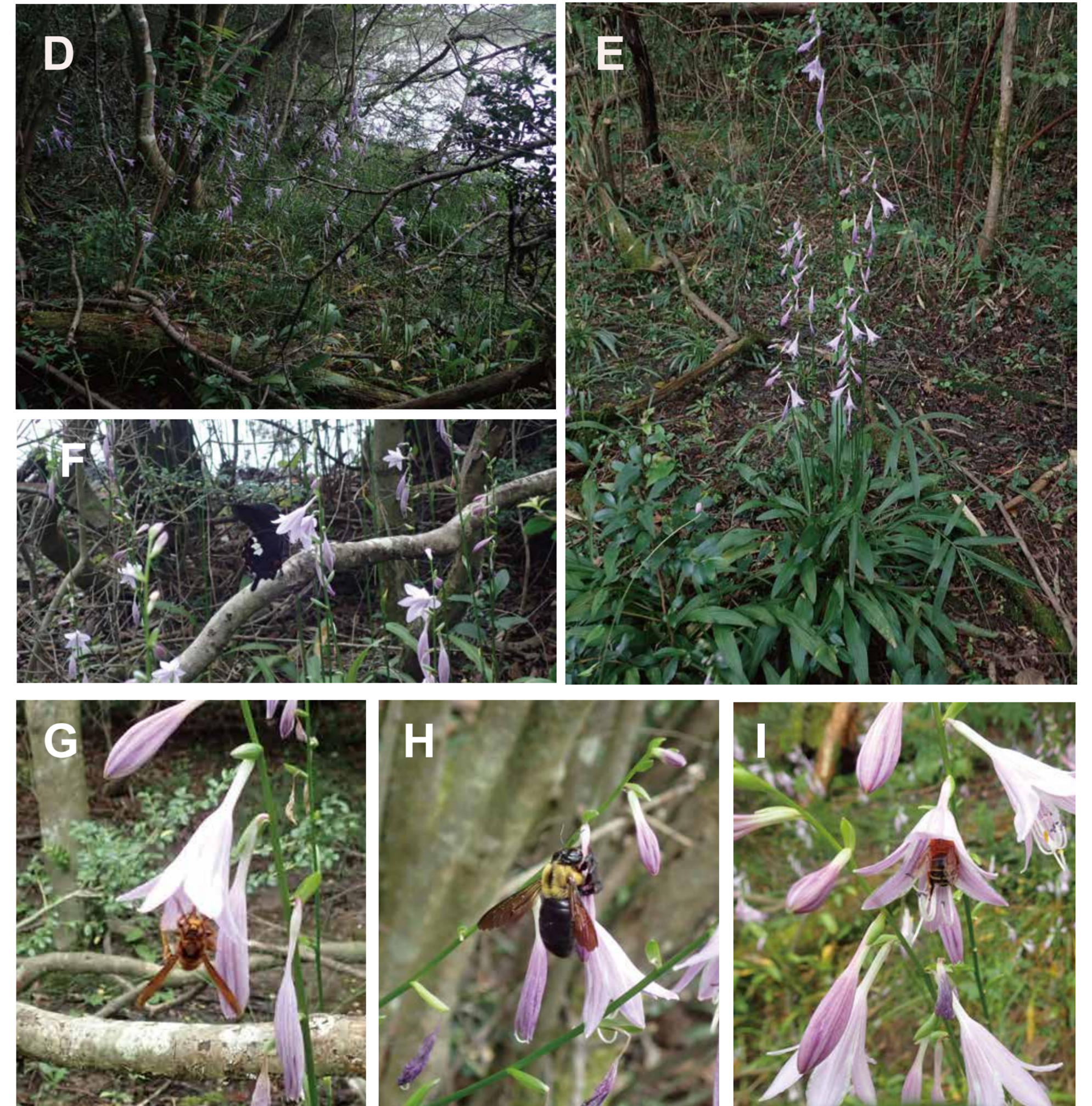
自然・環境評価研究部 系統分類研究グループ

高野 温子



2020年秋、姫路市植物園の松本修二さんから見慣れないギボウシを見つけたという連絡をいただき、2021年の夏に松本さん、松本さんの同僚の朝井健史さんと共に、加東市内のため池を調査しました。背丈が70 - 80cm程度、花数は多いのですが結実がみられないことから、バランギボウシ、またはミズコバギボウシ（＝ミズギボウシとコバギボウシの雑種）のどちらかと判断しました。

愛知教育大学の標本庫(AICH)でバランギボウシとミズコバギボウシの標本調査を行い、加東市の謎ギボウシはミズコバギボウシと結論しました。ミズコバギボウシはこれまで愛知県、岐阜県、高知県、宮崎県から記録されていますが、兵庫県内では初記録です。



図A. ミズコバギボウシ標本 (AICH所蔵)

図B. 加東市のミズコバギボウシ標本 (ひとく所蔵)

図C. バランギボウシ標本 (AICH所蔵)

図D. 加東市のミズコバギボウシ生育環境。ため池水際の湿地に群生している。 E. ミズコバギボウシ。

図F-I. ミズコバギボウシに訪花する昆虫類。 F. モンキアゲハ、 G. キイロスズメバチ、 H. キムネクマバチ、

I. スジボソコシブトハナバチ

ミズコバギボウシとバランギボウシはどちらも雑種由来で稔性がない植物ですが、推定両親種、葉の幅、葉脈の数が異なります。